

てっこうきでん

TEKKOKIDEN

(一社)石川県鉄工機電協会
TEL (076)268-0121
URL <https://www.tekkokiden.jp>
題字／名誉会長 澁谷 弘利

令和2年度
業界振興懇談会(第22回)開催

9月3日(木)ANAクラウンプラザホテル金沢において、谷本知事及び県商工労働部幹部の方々をお招きし、菱沼会長はじめ協会の役員、並びに各地域・業種の代表者 53 名が一堂に会し、業界振興懇談会を開催しました。菱沼会長、谷本知事の挨拶の後、代表2名の方々より業界が直面する課題を知事に説明要望し、それ



(菱沼会長あいさつ要旨)

今回で22回目となりますが、谷本知事には、毎回この懇談会にご出席を賜り、私どもの要望に対し、ご理解をいただいております。特に今年は、新型コロナウイルスへの感染拡大対策と経済・財政対策に積極的な施策を実行されている大変お忙しい中、ご出席いただけましたことに、改めて感謝申し上げる次第でございます。



コロナの影響につきましては、私どもが実施いたしました景気動向調査におきましても、４－６月期のDI調査では「売上高」「収益状況」ともに６期連続して悪化するなど、引き続き厳しい状況が続いています。また、当協会におきましても、一大事業である「機械工業見本市 MEX 金沢」について、今年度は初めて開催を断念せざるを得ない事態となりました。

このような状況下ではありますが、これからも我々モノづくり業界が継続・安定して成長することによって、地元・地域の発展に尽力できますよう、県行政の力強いご支援をお願い申し上げる次第です。

(谷本知事あいさつ要旨)

鉄工機電協会は、平成に入ってからでも、バブル経済の崩壊やリーマンショックに端を発した経済危機など様々な試練がありました。あのリーマンショックの際でも継続することが大事だと機械工業見本市を開催されましたが、コロナウイルス感染症は得体が知れずやっかいであり、今年は中止とのこと。同様に、県の主な行事もすべて中止になっておりますが、なにより県民の皆様へ安全と安心感を持っていただくことが経済再生の第一歩につながるのではとの思いを持つに至っております。



今は大変厳しい状況であり、これを乗り越えていくことはたやすいことではないですが、これまでも様々な困難を乗り越えられてこられた鉄工機電協会の方々ですので、耐えるところはしっかりと耐えて乗り越えていただく気概を出していただくことをお願いし、我々も業界の方々の様々な取り組みをしっかりとサポートして支える、そして運命共同体として取り組んでいくということが県の務めであると思う次第であります。

ご意見をお聞かせいただいて、皆さん方と問題意識を高いレベルで共有しながら、この困難な時代を乗り越えていきたいと考えております。

【CONTENTS】

令和2年度業界振興懇談会開催	きでん国際オンラインセミナー	4
会長、知事あいさつ要旨	新型コロナウイルス感染症に伴う国の支援策	5
要望内容・知事回答	石川県令和2年度9月補正	6
ものづくりマイスター派遣事業	会員企業トピックス	6
働き方改革関連法事業	D.I調査（R2.7-9月期）	7
協会トピックス	研修スケジュール	8
自動化・省力化推進研究会	協会スケジュール	8
国際委員会	会員情報	8

[illegible]

業界振興懇談会要望内容

産業展示館 1・2・3号館の改築整備のための調査費について

見本市委員長 正田 正一 氏（正田産業㈱代表取締役会長）

今年度の MEX 金沢は、新型コロナウイルス感染症のため、断腸の思いにて中止としたが、今や、機械見本市としては、東京、名古屋で開催される見本市に次ぐ規模にまで成長しており、展示スペースの不足が現実のものとなっている。

今般のコロナをきっかけとして、来年以降の MEX 金沢の在り方については、3 密を回避するため、その内容を十分に検討していかなければならないと考えているが、一方従来型の対面によるコミュニケーションは、代替のきかない重要な要素であるとも考えており、引き続き実施してまいりたい。

地域経済を牽引して本県発展に奮闘している業界の要望を斟酌いただき、築 50 年近い産業展示館 1・2・3 号館の全面改築についてご検討いただき、来年度予算に産業展示館の改築整備のための調査費計上をお願いしたい。

知事（答弁要旨）

日本海側を代表する見本市であることは自他ともに認めるところであり、長い歴史を刻んできた機械工業見本市 MEX 金沢をできる限り再開という方向で、是非ご議論を進めていただきたい。コロナウイルス対策もしっかりやりながら、MEX は基本的に来年は開催すると、そんな方向で是非進めていただきたい。やはり商談ということになると対面でお互いやりとりするのがないことにはなかなかうまく進んでいかないと考えている。

建物は 50 年経つと老朽化しているのでだいたい建て替えをしなくてはいけない時期がくる。産業展示館も確かに 50 年経って老朽化していることは間違いないので、建て替えということが議題に上ってくるのは間違いなく、その時が近づいていると思う。その反面、コロナウイルスがこれからどのように広がっていくのか、その対策にどれだけ予算が必要なのか、もう少し見極めさせていただくということを是非ご理解いただきたい。



戦略的な人材確保の支援策の充実について

人材育成委員長 玉田 善明 氏（タマダ㈱代表取締役会長）

業界として、コロナの影響を受けて採用を抑制する企業も一部みられるものの、コロナに関わらず、高度な専門性を有し、将来的な幹部候補となり得る人材の獲得ニーズは高い状況である。一方で、今回のコロナ禍を契機に、相対的な感染リスクを考慮して、首都圏在住者が地方移住への関心を高めている傾向があるとのことで、このことは、県内企業が UI ターン人材を確保しやすい環境になっていると捉えることもできる。

環境変化が激しい今こそ、UI ターンによる人材確保を加速するため、移住定住支援策やテレワークの導入に向けた支援の充実など、本県への人口流入を促す施策の強化を図っていただきたい。また、今後とも、県が中心となって学生の地元定着の取り組みを充実させるとともに、今年度も予算計上されている県外からの高度専門人材獲得に取り組む各企業に対する助成制度の充実・強化もお願いしたい。

知事（答弁要旨）

東京一極集中というのは当たり前の流れだったが、最近のコロナ禍の状況のなか、東京から地方への移住が増えており、是非そういう方向はこれからはっきり大きな流れとしていきたい。その意味では、我々もいろいろな人材育成ということはしっかり考えていかなければいけないと認識しているが、その中でも IoT とか AI を理解して実践できる人材を育てていくということは大変大事なテーマだと思っている。先日、小松製作所と早稲田大学の力をお借りして、IoT・AI の人材育成のスクールを旗揚げさせていただいた。地方から人材育成の取り組み、石川県なりの人材育成をしっかりやっていくということが大変大事なことである。

皆さん方もこの分野では負けたくないという気概を持って頑張っていただければ、それが石川県の産業基盤のさらなる強化につながると思っており、県の方もそのために必要な人材を育てるためのお手伝いをしっかりやっていかなければならないと考えている。



ものづくりマイスター派遣事業

協会では、中小企業の会員の皆さんを対象に、県職業能力開発協会に所属する「ものづくりマイスター」を派遣し、企業内での技術伝承を図る事業を実施しております。今回はご利用企業様にご協力いただき、その内容をご紹介します。

富士精機株式会社（金沢市）

代 表 者：川島 正夫

資 本 金：1,000万円

従業員数：58名

事業内容：切削・研削加工（建設機械・産業機械部品—ブッシュ、カラー、スペーサー、シャフト、ライナーなど）



【研修内容】

機械検査作業の技能向上を目的とした実技指導で、経験年数ゼロから16年間と実務経験が大幅に違う社員を対象に、ベテランと初心者のペアで総勢31名10班を編成、一回3時間、都合10日間の研修で、各々測定の基本と測定具の取扱いを習得。

【受講者のコメント】

実務経験の違いの他、年齢も多岐にわたっていたが、若手では特にマイクロメーターでの目盛りの読み間違いが無くなり測定能力、測定スピードがともに上がった。

【前川工場長のコメント】

受講生全員、実技技能検定3級取得レベルの測定課題を練習し、マイクロメーター、ノギス及びシリンダーゲージを用いた部品寸法測定を実施。概ね全員、測定精度、測定速度も問題なく、3級レベルに達したのではないかと。今後も有志を募り、マイスターの指導を仰ぎ、次は技能検定2級取得者を増やしていきたい。

本制度は無料となっておりますので、是非ご活用下さい。

働き方改革関連法事業

昨年度に引き続き石川労働局の「働き方改革推進支援助成金」の交付を受け、先進事例企業・弁護士、社会保険労務士に協力いただき下記事業を実施しております。

【社会保険労務士による会員企業への訪問・相談】

働き方改革3施策（有給休暇年5日取得、時間外労働の上限、同一労働同一賃金）への対応策のため、社会保険労務士が会員企業を訪問し、適宜相談を受け、各社の事情に基づいた個別、具体的な労務環境整備を指導します。また新型コロナウイルス関連の相談につきましても、助成金を含めた支援のアドバイスをいたします。

【セミナーの開催】

会員企業の労務管理の向上、働き方改革関連法の理解促進に向けてセミナーを開催します。今年度は特に中小企業が2021年4月1日より適用される同一労働同一賃金への対応を中心としたセミナーを開催しております。

9月29日(火) テーマ：「テレワーク導入セミナー」～導入時における就業規則等の整備について・課題と対策～
(オンラインセミナー)

講 師：特定社会保険労務士 高岡 哲夫 氏

11月19日(木) テーマ：中小企業における同一労働・同一賃金への対応について（オンラインセミナー）

講 師：弁護士 山腰 茂広 氏

※後日改めてご案内いたします。

【ポスターの作成】

働き方改革関連法の理解促進に向けて、協会独自のポスターを作成し、11月上旬に会員企業に配布予定です。

協会では引き続き、地域別に5名の社会保険労務士にご協力頂き、会員企業の皆様のご相談をお受けいたします。

是非この機会をご利用下さい。



コロナ禍での協会事業の取り組み

現在、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として、人が集まる会議やセミナー等はオンラインで行われることが多くなっています。

当協会でも、従来開催の会議やセミナーのオンライン開催に取り組んでおり、今後ともコロナ感染状況を踏まえて、適宜オンラインを活用していく予定です。

令和2年度第1回自動化・省力化推進研究会

開催日：令和2年8月6日(木)

今回研究会ではFA・ロボットシステムインテグレータ協会幹事の高山義弘氏を講師にお招きし、「製造業を巡る動向と今後の課題、主な論点～さりげない作業をロボットにさせよう～」をテーマにオンラインで実施し、研究会メンバー25名が参加しました。冒頭、現在のロボットの導入状況についてリーマンショック以降、順調に伸びている状況をご説明頂きました。一方、中小企業への導入は依然ハードルが高く、それに対するロボット工業会の取り組みや、今後、さらにSier企業同士が連携し、FA・ロボット業界のネットワーク構築やシステムインテグレーションに対する専門性の高度化の必要性を指摘されました。



令和2年度第1回国際委員会

開催日：令和2年8月26日(水)

国際委員会として、初めてWeb会議システムCisco Webexを導入し、海外とオンラインで会議を開催しました。山本国際委員長はタイから、特別ゲストとして蘇州石川制鉄有限公司（石川可鍛製鉄(株)の中国現地法人）の塩谷董事長に参加いただきました。今年度の国際化関連事業では、ベトナムの展示会出展やFBC上海ものづくり商談会への参加を計画していましたが、コロナの状況などを踏まえて出展・参加の中止を決定しました。また、各国のコロナ対策が話題となり、特にコロナ禍以前の日本人が出張ベースで機械の据え付け作業をしていたことに対して、コロナ禍では日本からオンラインで指示を出し、現地人が据え付けを行っていることが概ね上手く動いている等、現在のコロナで人が動きにくい状況の中での活動が報告されました。



きでん国際オンラインセミナー

開催日：令和2年9月17日(木)

「コロナ禍におけるASEAN+ 中国の現状を知る」と題して65名視聴のもと、北國銀行海外ビジネス戦略課とジェトロ金沢貿易センターと共催で、オンラインセミナーを開催しました。始めに総論として、ジェトロ海外調査部アジア大洋州課の北嶋誠士氏に「コロナ禍におけるASEAN地域の状況」をテーマに、経済指標等を交えて、現在の状況を解説していただき、その後、タイ（TAKAMATSU THAILAND (MACHINERY) CO.,LTD.）・ベトナム（I-DEN VIETNAM CO.,LTD.）・インドネシア（PT.KAJI MACHINERY INDONESIA）・中国（北國銀行上海駐在員事務所）の会員企業等の現地担当者をリレー形式で繋ぎ、各地のコロナの対策や現地製造業の近況などを報告いただきました。



新型コロナウイルス感染症に伴う国の支援策

固定資産税・都市計画税の減免

新型コロナウイルス感染症の影響で事業収入が減少している中小企業者・小規模事業者に対して2021年度の固定資産税・都市計画税の減免を行います

減免対象	※いずれも市町税
	・ 事業用家屋及び設備等の償却資産に対する固定資産税（通常、取得額又は評価額の1.4%） ・ 事業用家屋に対する都市計画税（通常、評価額の0.3%）

2020年2月～10月までの任意の連続する3カ月間の事業収入の対前年度同期比減少率	減免率
50%以上減少	全額
30%以上50%未満	2分の1

詳細、最新情報は中小企業庁ホームページ：<https://www.chusho.meti.go.jp>「財務サポート▶税制」でご確認下さい。

テレワーク等のための設備投資が中小企業経営強化税制対象に追加

中小企業者が導入する一定の規模の設備について、即時償却又は設備投資の7%（資本金3,000万円以下の法人などは10%）の税額控除ができる制度です。

【対象となる一定の設備】

類型	生産性向上設備	収益力強化設備	新たな類型（デジタル化設備）
要件	生産性が旧モデル比年平均1%以上向上する設備	投資収益率が年平均5%以上の投資計画に係る設備	遠隔操作、可視化、自動制御化のいずれかに該当する設備
対象設備	機械装置 測定工具及び検査工具 器具備品 建物附属設備 ソフトウェア（情報収集機能及び分析・指示機能を有するもの）	機械装置 工具 器具備品 建物附属設備 ソフトウェア	機械装置（160万円以上） 工具（30万円以上） 器具備品（30万円以上） 建物附属設備（60万円以上） ソフトウェア（70万円以上）

※テレワーク等のための設備投資が追加

詳細、最新情報は中小企業庁ホームページ：<https://www.chusho.meti.go.jp>「経営サポート▶経営強化法による支援」でご確認下さい。

石川県令和2年度9月補正（商工労働部関係）

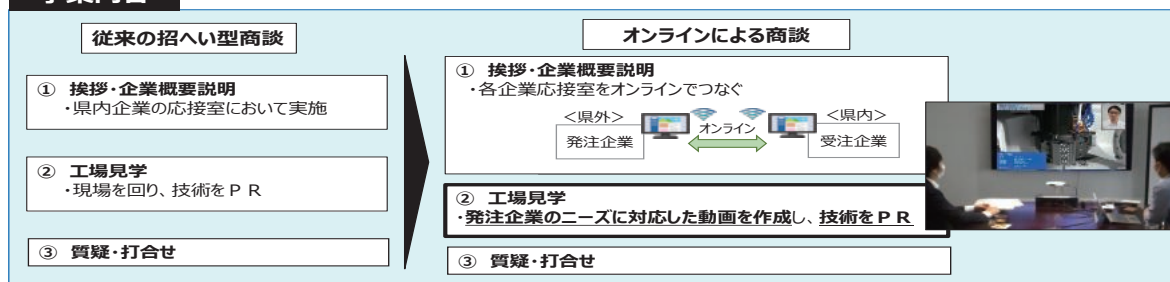
オンラインを活用した販路開拓支援事業（機械）

背景

・コロナ禍において、需要の低迷や移動制限による営業活動の停滞等により、県内企業の新規受注の獲得が難しい状況である。一方、県外のメーカーからは、技術的課題に対応が可能な受注先を求める声

オンラインを活用した擬似的な工場見学等による商談会の開催を支援

事業内容



情報等は、I S I C O のHPにて随時アップするのでご確認ください。

お問い合わせ先：石川県商工労働部 産業政策課 機械・繊維・食品グループ 076-225-1507

オンラインを活用したUIターン促進事業

背景

- ・都市部を中心に新型コロナウイルスが拡大し、東京一極集中のリスクが改めて認識されたことなどから、地方移住への関心が高まっている
- ・県内企業とUIターン希望者(県外在住)とのマッチング促進においては、県をまたぐ移動の抑制となる、オンライン合同企業説明会のニーズが高い

オンラインを活用し「本県への移住・UIターン」を促進

事業内容

【情報発信の強化】

- ・大手転職サイト登録者向けに個別メール配信
送信内容：合同企業説明会の開催案内やILAC相談窓口の紹介などを、石川県へのUIターンに興味がある人に定期的に配信（計4回）

【オンライン合同企業説明会の開催】

- ・本県へのUIターン転職を希望している方を対象として、オンライン合同企業説明会を本格的に開催する（10月以降に4回開催）

【今後の開催予定】R2.10.3（土）、R2.11.14（土）、R2.12.13（日）、R3.1月中旬～下旬

お問い合わせ先：石川県商工労働部 労働企画課 人材確保・定住政策推進室 076-225-1532

会員企業トピックス

2020年度版「グローバルニッチトップ企業100選」に会員企業が選定

経済産業省が、マーケティングや技術開発を通じた差別化戦略により、個々の市場規模は小さいものの、世界シェアが極めて高い製品を製造する企業を世界のサプライチェーンにおいて「なくてはならない」存在として広く世に示すべく、「グローバルニッチトップ企業100選」として選定・表彰されました。

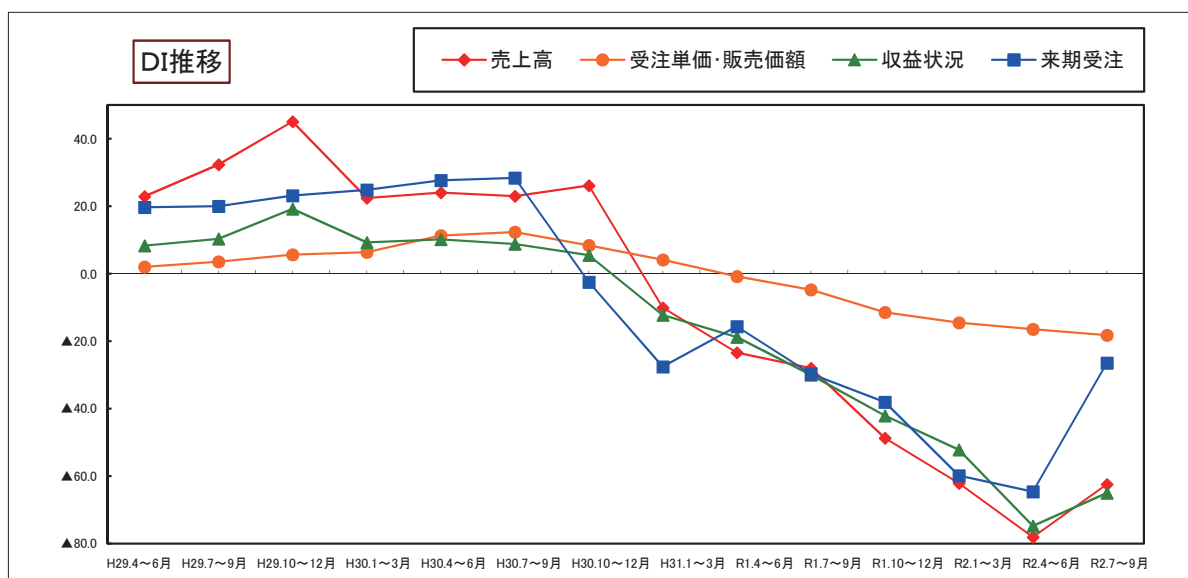
部門	選定企業名	GNT 製品・サービスの名称
機械・加工	(株)ソディック	NC放電加工機
	大同工業(株)	二輪車用ドライブチェーン
	土肥研磨工業(株)	旋回軸受（6トン未満の油圧ショベル用）
電気・電子	(株)白山	MTフェルール（多心光ファイバを高精度、高密度に一括接続する光接続用部品）

DJ調査結果（令和2年7月－9月期）

概況総括：『新型コロナウイルスの影響で不透明感はぬぐえないものの
景況感は7期ぶりに改善し底をついた感はある』

【調査概要】

1. 今期（令和2年7月-9月期）の業況調査DI12項目では、2期ぶりに全項目がマイナスとなったが、「来期受注」など8項目が改善している。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
 - (1) 景況感を端的に表す「売上高」が▲62.4（前回▲78.1）、「収益状況」も▲65.0（前回▲74.8）と、若干改善され、持ち直しの動きがみられる。
 - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」▲61.4（前回▲61.0）、「受注残」▲24.9（前回▲27.4）、「生産設備」▲27.9（前回▲26.7）と、引き続き厳しい状況にあり、一部休業を余儀なくされる状態にある。
3. 来期については、「来期受注」▲26.5（前回▲64.6）、「来期採算」▲33.4（前回▲62.8）、「来期資金繰」▲30.5（前回▲49.5）と、大幅な改善がみられるなど、景況感は7期ぶりに改善し底をついた感はある。
4. 「企業経営上の悩み」については、新型コロナウイルスの影響で「受注不安定」が77.1（前回70.0）とリーマンショック時を超える過去最多となった。一方、「資金繰り」が2.6（前回8.4）と改善され、新型コロナウイルス感染症緊急特別融資等の活用がなされたことが伺える。
5. 今回2期ぶりに全項目がマイナスとなり、米中貿易摩擦による景気失速に加えて新型コロナウイルスの影響が拡大して、引き続き厳しい状態にあるものの、来期に更なる改善の兆しが見受けられる。しかしながら、依然として新型コロナウイルスの影響等により、状況が一変する懸念があり、国・県による更なる資金繰りや雇用維持などの経営安定対策とともに、国による各種規制改革による経済の活性化が必要と思われる。



令和2年度 研修スケジュール（予定）のご案内

「きでんスクール」：各講座が雇用調整助成金教育訓練の対象となるか石川労働局に確認し、各講座のご案内の際にお知らせいたします。

No	開催日（予定）	テーマ	受講料	定員
1	10月16日(金)	5Sで仕事のやり方を変えよう！	3,000	30
2	10月23日(金)	若手社員レベルUP教育	3,000	30
3	11月20日(金)	安全活動の進め方	3,000	30
4	11月27日(金)	ムダの発掘と改善	3,000	30
5	12月18日(金)	品質管理	3,000	30
6	1月15日(金)	ヒューマンエラーとボカミス対策	3,000	30
7	2月19日(金)	効果的なOJTの進め方	3,000	30
8	3月12日(金)	ネクストリーダー研修	3,000	30

「技能継承スクール」：雇用調整助成金教育訓練（半日分）の対象となります。

No	開催日（予定）	テーマ	受講料	定員
1	10月1日(木)～2日(金)	無線センサーネットワーク活用による製造現場監視技術	5,500	10
2	10月5日(月)～6日(火)	半自動アーク溶接技能クリニック	6,000	10
3	10月20日(火)～23日(金)	旋盤加工応用技術	6,000	12
4	11月10日(火)～11日(水)	計測器管理技術	4,000	10
5	11月10日(火)～12日(木)	実践機械製図（投影法～機何公差）	4,000	30
6	11月11日(水)～12日(木)	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	6,000	10
7	11月17日(火)～18日(水)	精密測定技術（歯車・三針法などの特殊測定）	3,000	12
8	12月1日(火)～4日(金)	フライス盤加工技術（エンドミル編）	6,500	10
9	1月13日(水)～14日(木)	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	6,000	10

ホームページからもお申込みいただけます。 URL <https://www.tekkokiden.jp>

※研修は新型コロナウイルス感染予防（検温、消毒、マスクの着用、換気等）に留意し、実施しています。

令和2年度 協会スケジュール

開催日	内 容
会 議	
10月15日(木)	見本市委員会
11月18日(水)	新分野進出委員会
11月25日(水)	広報・情報委員会
令和3年1月26日(火)	正副会長会議、理事会、臨時総会
行 事	
10月19日(月)	第2回自動化・省力化推進研究会（web講演会）
11月18日(水)	新技術オンラインセミナー
11月19日(木)	働き方改革セミナー（オンラインセミナー）「同一労働・同一賃金への対応」
11月26日(木)	第56回功労者・永年勤続者表彰式
12月1日(火)	高校教員工場見学（加賀地区）（共催：石川県教育委員会）
12月3日(木)	高校教員工場見学（金沢地区）（共催：石川県教育委員会）
12月4日(金)	高校教員工場見学（能登地区）（共催：石川県教育委員会）
12月9日(水)	工業系高校教員工場見学・モノづくり企業との懇談会
令和3年1月26日(火)	令和3年新年会員懇親会

i 会員情報 令和2年9月15日までにお寄せ頂いた内容を掲載しています。

◆代表者の変更

社名	新代表者
(株)朝日電機製作所	砂崎友宏
(株)新家製作所	山下公彦
(株)石川プレート	大友隆行
(株)ダイモール	大杉謙太
北陸計器工業(株)	中田一夫

◆組合名の変更

新組合名	旧組合名
(協)石川中央	旭丘団地第二(協)